

どんどん育て！ さつまいも ～2009年 植えつけ編～

山田梢恵

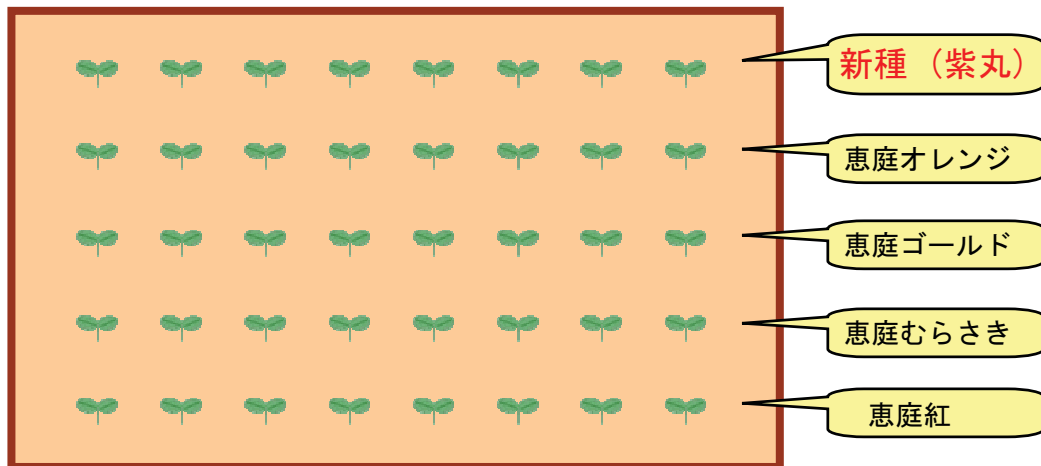
<日時> 平成21年6月6日（土）14時00分～15時30分

<場所> 寿都小学校 校門前 さつまいも畑

<参加者> 寿都小学校の1年生～4年生 10名

<サポーター>

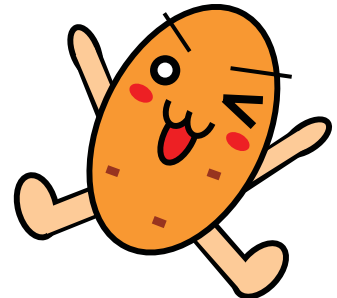
北越さん、対馬さん、小林（千）さん、伊藤（和）さん、山田河辺さん、川口さん、鎌田さん、山本さん（寿都町教育委員会）、佐藤先生（寿都小学校）



今回植えたイモ苗配置図

<内容>

1. 自己紹介
2. 苗植え
3. かみしばい
4. アンケート



オリジナルキャラクター：イモたん

※大雨になりそうのため、講義前に苗植えを行った。

<詳細>

－苗植え－

・急遽、講義前に苗植えをすることになったのと、天候が良くなかったため、慌ただしい植え付けになってしまった。

次回はもっと丁寧な指導を行いたい。

・寿都町は風が強いため、例年と同様、イタダリの茎を柵にし上からビニールをかぶせて風よけを作った。

－紙芝居－

・小学校低学年の子どもがほとんどであるため、注意を引きやすいように、紙芝居で講義を行った。

・物語だけだと飽きるため、クイズや苗の現物観察、絵が動く仕掛け等を入れて工夫をした。



《紙芝居の大まかな内容》 以下のような内容を子どもに呼びかけながら行った。

去年の秋に、みんながおいしく食べたイモたんの仲間たち。

秋に採れたイモたんの仲間の一部は、次の年のおいもになるために冬眠をします。イモたんはとても寒さに弱いため、12～15℃での冬眠が一番良いです。10℃以下だと死んでしまいます。

無事冬眠できたイモたんは、芽がのびてきます。春先に土に植えられたイモたんは芽から葉が出てきます。節にはツノ(不定根)が出ます。

今日植えた苗は5種類です。そのうち1種類は、秋にみんなで名前を付られます。すくすく育つイモたんの成長をみんなで見守ってね！



- 昨年採れたイモから、次の年のイモが
作られるということは知られていなかった。
- クイズは正解者が一人だった。
冬に保管しているイモの一番の天敵は虫、
と思う子どもがほとんどであった。
- 子どもたちに苗を渡し、注目してほしい所
(秋にイモになる不定根) を促すと真剣に探していた。



－アンケート－

- ・ 紙芝居がおもしろかった。クイズが楽しかった。苗を植えるのが楽しかった。
- ・ 冬眠するとは知らなかった(腐と思っていた)
- ・ 恵庭ゴールドが一番好きなので、秋においしいイモになるか楽しみ。
- ・ 新種のさつまいもの名前、がんばって決める。 などの感想が見られた。

－おみやげ－

子どもたちの興味を引くためと、収穫祭日のアピールのためにイモたんシールを作成した。

意外にも紙芝居より好評で、とても喜んでくれたようだった。
作成は word のオートシェイプで行った。



－教育委員会からの評価と感想－

かわいい絵や粋な仕掛け等の工夫が凝らされていて良かった。
こういうおみやげ(シール)は子どもたちが喜ぶので良い。
苗に2つの根があることは初めて知った。



－感想－

準備不足な箇所もありましたが、梅村さんや教育委員会の方、サポーターの方々に沢山手助けしていただいたため、無事成功できました。今回の講義内容である紙芝居は、ストーリーや絵を一から作ったのでとても苦勞をしましたが、子どもたちは楽しみながら学んでくれたようなので、良かったです。次回講義をする機会があれば、今回の反省を生かしてより良い講義にしたいと思います。

【紙芝居】

画像が色あせているのと、話した文章が入っていないため伝わりづらいかもしれませんが参考に掲載します。



1



2



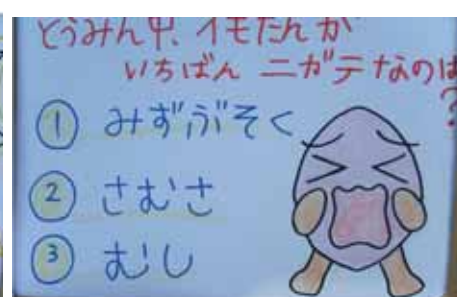
3



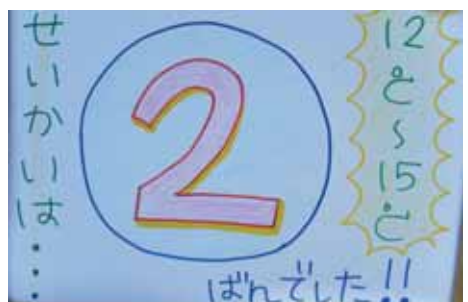
4



5



6



7



8



9



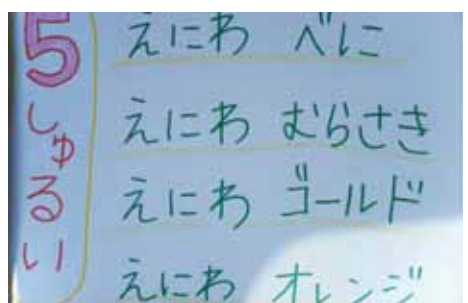
10



11



12



13



14



15 (手が動く仕組み)